

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語特論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0074			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	World Link 2 (National Geographic)						
担当教員	宮澤 泰彦,本田 崇洋						
到達目標							
①学んだ単語を適切に発音し、英文を正しく音読できる。 ②学んだ単語や文法を身につけ、英語で表現できるための基礎的な力を確実なものにする。 ③基礎的な英語力を元に、応用力を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	テキストを中心に文法や適切な発音、読解力を身につける。基礎をしっかりと身につけ、発展した英語力を培う。						
授業の進め方・方法	定期試験は50分の試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に実施する。 定期試験の成績を70%、平素の成績（課題、小テスト）を30%として、総合的に評価し、60点以上を合格とする。 PCやスマホで学習するオンライン教材の進捗状況を管理し、このデータを平素の成績のエビデンスとする。						
注意点	予習、復習を徹底すること。辞書をひき、音読をする習慣をつくること。放課後や自宅においてオンライン教材でPCやスマホで学習を進めること。進捗状況を管理し、最終的にこのデータを自学自習のエビデンスとする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の運営についての説明		
		2週	UNIT 01 My Life		People I Know		
		3週	UNIT 01 My Life		People's Relationships		
		4週	UNIT 01 My Life		Simple Present and Present Continuous		
		5週	UNIT 02 Let's Eat!		Describing Food		
		6週	UNIT 02 Let's Eat!		Regional Dishes		
		7週	UNIT 02 Let's Eat!		The Comparative Forms of Adjectives		
		8週	Mid-term exam 中間試験		50分試験		
	2ndQ	9週	UNIT 03 Mysteries		Lucky or Unlucky		
		10週	UNIT 03 Mysteries		Making Your Own Luck		
		11週	UNIT 03 Mysteries		Modals of Present Possibility		
		12週	UNIT 04 Trends		The Future of the American Shopping Mall		
		13週	UNIT 04 Trends		Online Shopping Trends		
		14週	UNIT 04 Trends		Quantity Expressions		
		15週	UNIT 05 My Neighborhood		Chores and Errands		
		16週	UNIT 05 My Neighborhood		Conversations about Appointments		
後期	3rdQ	1週	UNIT 05 My Neighborhood		Requests with Modal Verbs		
		2週	UNIT 06 Goals		Applying to College		
		3週	UNIT 06 Goals		Podcast about an Unusual School		
		4週	UNIT 06 Goals		Plans and Decisions		
		5週	UNIT 07 Celebrations		World's Favorite Sport		
		6週	UNIT 07 Celebrations		Coming of Age Celevbrations		
		7週	UNIT 07 Celebrations		Agreeing Other peoples' opinion		
		8週	Mid-term exam 中間試験		50分試験		
	4thQ	9週	UNIT 08 Once Upon A Time		Discussing Stories		
		10週	UNIT 08 Once Upon A Time		Conversation about Crowdsourcing		
		11週	UNIT 08 Once Upon A Time		Past aperfect and Past Continuous		
		12週	UNIT 09 Work		Qualities Needed for Jobs		
		13週	UNIT 09 Work		Talks about Different Jobs		
		14週	UNIT 09 Work		Present Perefect		
		15週	UNIT 10 Stay In Touch		Using the Phone		

		16週	UNIT 10 Stay In Touch			Asking for Permission		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,後1,後2,後3,後4		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,後1,後2,後3,後4		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,後1,後2,後3,後4		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,後1,後2,後3,後4		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前7,前8,前9,前10,後5,後6		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前7,前8,前9,前10,後5,後6		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前7,前8,前9,前10,後5,後6		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	前7,前8,前9,前10,後5,後6		
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。		3	前11,前12,前13,前14,後5,後6			
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。		2	前11,前12,前13,前14,後7,後8,後9			
		実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。		3	前11,前12,前13,前14,後7,後8,後9			
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	前11,前12,前13,前14,後7,後8,後9			
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	前11,前12,前13,前14,後10			
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	前15,前16,後10,後11,後12			
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	前15,前16,後10,後11,後12			
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	前15,前16,後10,後11,後12			
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	前15,前16,後13,後15,後16			
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	後13,後14,後15,後16			
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	後13,後14,後15,後16			
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	後13,後14,後15,後16			
評価割合								
	試験		英作文とプレゼンテーション	課題小テスト	授業態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70		0	30	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	30	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---